



じんけんへいわしりょうかん
人権平和資料館だより

2024^{ねん}（令和6^{ねん}）4^{がつ}月

HUMAN RIGHTS & PEACE

だいごう
第287号

じんけんへいわ
人権と平和は

せい
21世紀のキーワード

〒720-0061

ふくやましまるのうち
福山市丸之内1-1-1

TEL 924-6789

FAX 924-6850

jinken-heiwa-shiryoukan@city.fukuyama.hiroshima.jp

せんぼつ

戦没オリンピック

ひかり かげ
～オリンピックの光と影～



にし だけいち 西 竹一（ロサンゼルス五輪で金メダル：硫黄島で戦死）

写真提供：フォート・キシモト・フォート・キシモト

きかん
期間

が 7月7日(日)～9月16日(月)

せんぼつ
戦没オリンピック

みはらししゅっしん 三原市出身で、1976^{ねん}年のモントリオール五輪に女子走高跳で出場した曾根
みきこ 幹子さんは、選手を引退した後、郷里の広島に^{のち}戻り大学で教鞭^{きょうり}をとる傍ら、スポー
ツ史^しを研究^{けんきゅう}していました。そのような時に、広島市から被爆70年史^{ひばく ねんし}を依頼され、

うらめん 裏面に続く

「被爆した五輪選手もいたのではないかと」思ったことが戦没オリンピックの調査のきっかけとなりました。調査を始めると1920年のアントワープ五輪から1936年のベルリン五輪まで出場した38人を確認することができました。今回の企画展はこの調査を基に、肖像写真が入手できた戦没オリンピック7名と広島県出身者5名の生い立ちからオリンピックでの活躍と戦没に至るまでの経緯をパネルで紹介しました。召集令状が届き、次のキャリアへ踏み出すことができなかった戦没オリンピックの存在を記憶にとどめるとともに、ウクライナをはじめ現在なお多くの国々で戦争に巻き込まれているオリンピックに思いを寄せ、平和の大切さを改めて考えていきます。今回は、IOC（国際オリンピック委員会）の協力により戦没オリンピックが関わったアントワープ五輪からベルリン五輪までの公式五輪ポスター6点を展示するとともに、曾根幹子さんのモントリオール五輪ユニホームなど6点を現物展示しております。



100年前のパリ五輪ポスター

©2024 年 - 国際オリンピック委員会 - 無断複写・転載を禁じます



講師プロフィール

曾根 幹子 広島市立大学名誉教授

広島県三原市出身

競技歴

走高跳

高校新記録 (1m69cm)

日本新記録 (1m85cm)

日本選手権優勝5回

国体出場10回

アジア大会出場2回

モントリオール五輪出場

講演会：「オリンピックの戦死と帰還から」

日時：7月28日（日）13：30～

講師：曾根 幹子さん 広島市立大学名誉教授

場所：福山市人権平和資料館

入場無料